

令和4年度第1回「金沢の未来を語る まちづくりミーティング」議事要旨

- ・日時：令和4年8月27日（土）14時～
- ・場所：教育プラザ富樫 121・122研修室
- ・対象：野町、弥生町、中村町、十一屋、泉野、
長坂台、新竪町、菊川（校下、地区）

1 開会

【村山金沢市長】

皆さん、こんにちは。令和4年度のまちづくりミーティングということで、この時期に開催させていただいたところ、なかなか日程調整が難しかったというところかというように思いますが、お集まりいただきました。本当にありがとうございます。

このまちづくりミーティングは、町会連合会の皆様と全部で9回、公民館や校下婦人会の皆様と4回、開催する予定となっており、今回は第1回目の開催でございます。

令和2年度、令和3年度は、コロナの影響から2か年連続で開催を見送らせていただいたところでした、3年ぶりの開催となります。私が市長となってから初めての開催となりますので、よろしく願いいたします。

今回のまちづくりミーティングにつきましては、新たな都市像の策定に向けて、議題を「10年後の金沢の未来像について」と設定させていただき、名称も「金沢の未来を語るまちづくりミーティング」というようにさせていただいたところでございます。

本日は、限られた時間でございますけれども、様々なご意見をお聞かせていただいて、また金沢のこれからの未来像の策定に向けて、ご意見をいただければというふうに思っております。よろしく願いいたします。

2 市長講和「親和力で奏でる金沢」

市長講和の内容については、レジュメを参考願います。

3 意見交換

【野町町会連合】

今日は本当に村山市長さん、今ほど分かりやすいご説明いただきました。感謝申し上げます。私は今、野町と申し上げましたけれども、実はこの寺町台という台地、犀川を横にした、そういった台地の中にまちづくりを実はやっております。寺町台というのは、今お話ありましたように、非常に歴史・文化の色濃い、また息の長い、そういった中に我々は生活しており、また日々の商売もそこでさせていただいております。

その中に、金沢未来のまち創造館とか、それから2年余り前にできました谷口吉郎・吉生記念金沢建築館と、こういった新しい文化との交わり、接点を今まざまざと我々生活の中に溶け込ませようとしております。

ただ1点だけちょっと私がお尋ねしたいとか思っていることがございます。それは、寺町台と申しますけれども、寺町5丁目に先ほどお話いただきました金沢建築館でございまして。谷口先生とも同じ町会と申しますか、先生がお住まいになられた寺町5丁目の近くに私どもも商売させていただいておりますが、先生はこの建築館を建てるに当たって、「ちょうど崖っ縁の坂のところだけでも、ひとつまた地域の皆さんにご協力をお願いいたしますよ」というお話の中で、「この建築館が完成した暁には、地域の皆さんがそこでくつろげるような、また団らんをとっていただくような、そんなスペースも設けますよ」という話をおっしゃっていました。

私も、金沢市がその建物建築を進めておいて、完成した暁に、何かそういった地域の皆さんと交流を図れるスペースがあるのかなと思ってお尋ねしたら、「いや、そんなスペースはありませんよ」ということでもございまして、実は今、私どものほうからこれ見てもみると、やはり観光客とか、それから建築にご興味のある方がお見えになるんですが、地域とのマッチング、歴史都市の歴史文化と先ほどお話ありましたけれども、そういった線での接点というのはなかなか見当たらないんですね。ですから、何かお互いに交流を図る、またそのスペースを利用できる、そういった環境をひとつ何か考えられないものかなというのは私たち町会としての思いであります。

最初は、ちょうど県道に面するところなんで、そこには沿線をよくする会といった組織でいろんな活動を実はやっておったんです。先生もそこに一度足を運んでいただいで、そのときには皆さんがまた会合とかくつろげるスペースを造りますよというようなニュアンスの話をされておったんですが、現実できてしまったら「一向にそんな場所はありません」とおっしゃったんで、これは、これはかと思つて。

それともう一つ、私一番懸念するのは、やはりこういう、谷口先生の建物には駐車場はございません。県外からマイクロバスとか、今コロナで少ないんですが大型バスで来るんですが、そういう駐車スペースもございませんので、そういうときにやっぱり渋滞する。最近はそうでもないんですが、できた頃には非常に交通も渋滞した時期もございました。

それはそれとして、我々そこに住む地域の者としては、やはり地域との連携というか、歴史・文化というのはそこに生活する人たちのための魅力ある建物になってほしいなというのが思いでございました。

そんなことで、またいろいろ取組が今後あるかもしれませんが、ご検討いただければ幸いかなと思っております。

なお、金沢未来のまち創造館というのは、公民館とそれから行政との非常にうまくマッチングして、ここで若者を含めた食文化を中心にしたいろんな活動ができておるなということは非常に感謝しております。

そういうことで、また地域の活性化、10年を見据えた、そういったまちづくりというのは非常に、今ここで考えていかなきゃいかんかなと思っております。大事な話じゃないかなと思って、聞かせていただきました。

今後ともまたよろしく願いいたします。以上です。

【村山金沢市長】

ご質問、ご意見いただきましてありがとうございます。

谷口吉郎・吉生記念金沢建築館は、谷口吉生さんとそのご兄弟の方に財産を相続されたところでありましたけれども、これを金沢市に寄附いただいて、このような建築館を建てさせていただきました。これも寄付文化の一つかなというように思っております。本当にありがたい形で建築ができたというように思っております。

一方で、住民の方と交流が図れるスペースということでございます。建築館の1階にはカフェを設けさせていただいて、そこでくつろげる、あるいは住民の方もそこで憩えるような場ということで整備をさせていただいたところでございますが、なかなかそれが思うような使われ方ができないということは課題としてはあるのかなと思います。

一方で、寺町台の多くの住民というか、寺町は交通量の多い道路を挟んでいるということで、道路事情の観点もあって交流の場として制限もあるのかなというようには思っているところもあります。

全国の重要伝統的建造物群保存地域を有する自治体の会議がありまして、私は、その会長に就任することになりました。金沢には4つの伝建地区があります。これは全国でも4つというのは最多なんですね。京都と萩と並んで最多ということでもあります。この伝建地区の利活用をうまくできないのかなということを思っている中で、例えば、金沢未来のまち創造館もあったり、妙立寺さんもあったりということで、観光の方も多く来られるところだというように思いますが、この寺町のお寺の活用ということを寺町サミットでお話を伺ったこともありまして、そういったこともひょっとしたら、その他の寺院さんもたくさんある中でご関心あるところもあるんじゃないかなというように思っていて、そのことも含めて何か可能性を探ればなというように伺って思いました。

また、駐車場のことは土地の制約があつてなかなかやっばり難しいところはあるんですけども、これは将来的な課題として考えることかなというように思っております。ご意見として頂戴いたしましたので、検討をできればというふうに思いますが、なかなか難しいというところもご理解いただければと思います。

【弥生町会連合会】

弥生連合会は28の町会で形成されているんですけども、中身を吟味しますと、300所帯をもって1町会とするところもあれば、30所帯をもって1町会とするところもあるわけなんです。そこで、ご提案なんですけれども、行政の力でこの町会の合併を推進できないかということをございます。以上、よろしく申し上げます。

【松田市民局長】

町会活動自身は、本来は地元の方を中心にして検討していただくということが原則になります。市内には、世帯数が1桁の町会も結構ありまして、全体として検討すると対象はやっばり1,300ぐらいの町会全てに関してどういうルールができるのかなということを今後は考えていかなきゃいけないかなとは思っています。市としても、そういう課題の意識は持っており、昔からそういうご意見をいただいていることでもありますので、改めて検討させていただきたいと思いますが、市側だけというわけにはなかなかいきませんので、町会連合会をはじめ、皆様と一緒に検討していかなきゃいけないかなというふうに思っております。

【新塲町地区町会連合会】

こういう会議は、年配の方と言ったら申し訳ないですけども、そういう方々の意見がよくあると思いますが、私のところには、まだ高校行ってる息子2人がいるんですけども、なかなかこういう話をすると、大人の意見ばかりだろうというふうに思っています。しかし、高校生になってくるとある程度、周りを見たりとかもできると思うので、何かそういう高校生とか今の若い人らの意見を聴く場を持っていただくことって考えていただけないのでしょうか。

【新保都市政策局長】

高校生ぐらいになるともう当然自我があって、大人のやってることもある程度分かっていて、こういう会合は大人だけでやってるんでしょうと。特に高齢の方が中心になってやってるので、我々の意見なんてとか、感覚的にもうそういうことになりがちだということになります。そういう方々を逆に巻き込んでいくということは行政の使命だと思うんですね。今回、先ほど市長が講演の中でお話しした「未来へつなぐ金沢行動会議」、こちらのほうでは、18歳から40歳未満ということで、基本的には大学生からということになっています。これは大学生になると、今の大学生はやっぱり地域貢献ということで、我々の大学生のときは大分違っており大人びていまして、そういうことも考える方々が多いので、今回は大学生以上をターゲットにさせていただいており、高校生は含まれていませんが、我々もいろんな行事をする中で、高校生を巻き込みたいというのは昔からの課題なんですね。特に文化事業とか、そういうものも高校生を巻き込みたいんですが、小学生、中学生まではある程度そういうものを、例えば伝統文化の子ども塾なんかへは巻き込んでいけるんですが、高校生になると多分世代の中で一番忙しい時代で、親御さんは大学の受験もあるし、高校生はクラブ活動であったり、勉強であったり、自分たちの遊びであったり、そういうものの中で行政が入り込む余地というか時間がなかなか取れない時代。高校生をというご意見も大事なことだと思っていますし、我々も常に考えていますので、どうやってそういう方々を巻き込んでいけるかということは今後も考えていきたいと思っています。ありがとうございました。

【新塲町地区町会連合会】

どうしても立場上、お願いしたいことといたしますか、お聞きしたいことがあります。ま

ず、野町小学校の跡地を見てましても、次は新堅町小学校だなということがありますので、かねてからお願いしてあるとおりに、またよろしくお願ひしたいということでもあります。前の山野市長が新堅町小学校の校舎は耐震がなってないものですから壊すということですが、今私どもが一番心配なのは、雨が降りますとやっぱり防災なんですよ。千年に一度の雨が降りますと、ここら辺は3メートルぐらいになるということで、犀桜小学校は少し嵩上げしましたが、新堅町小学校は何もなってない。それを今、新たな建物の中で工夫してもらえば結構だと思うんですが。ただ、河岸浸食区域が池田町からずっと、十三間町、中川除町まで、それから清川町まで想定をされており、新堅町校下の約半分が水がつくんですね。残るのはどこかといったら本多町なんです。第二庁舎も水がつきますよ。本多町の上のほう、要は今の知事官舎の辺りから県立図書館とかあっちのほうは残るんですが。私ども新堅町地区の拠点避難所は旧新堅町小学校になっておりますので、本多町の方も「何で水のつかるところに行くがや。連長さん教えてや」と言うてくるもので、私も言葉に窮するのであります。同じく、やっぱり菊川地区も、本多町の方々が犀桜小学校に行かなきゃならん。何で河岸のほう行かんなんがやという話なんです。これは地震も含めての話やさかい、まあまあそこは難しいこと言わんと、と言いながらも、やっぱり危惧はしとるものでありますので、そこら辺のことを今後また危機管理の面で少し地元とすればそういう危機感を持っているということを少し頭のほうに入れていただければというのが一つと。

この間、金沢マラソンのほうからいろいろ説明を受けたときに、私の思いつきなんですありますが、金沢マラソンで今オンラインマラソンやっていますね。今たくさんの方が出てきて、それ見ますと、市町村から年齢からタイムが全部こうして出てるんですね。そういうことを少しウォーキングとかにできないかなと。オンラインウォーキングみたいものを、そういうシステムがあるんでしたら、そのバージョンを変えてオンラインシステムにできるんじゃないかなと。スポーツ振興課に言うたら、ウォーキングはスポーツというか、健康増進なら健康政策課でしょうみたいなことを言うわけですよ。私は、役所のOBだったから、そんなこと言わんとどこかでやれや、と思いたいんですが、ベースの市民は健康であろうが何であろうが自分の体づくりなんです。これからどンドンどンどン年がたって高齢人口が変わってきて、それをいかにして現役に残すことがやはり健康寿命を延ばすことが大事なことでありますから。例えば春のオンラインウォーキングなんかにしますと何々地区がどれだけオンラインになったかというのは全部分かってきますか

ら、あの地区は元気やったなど。あんたのどこ少なかったぞいや。ほんならうちも頑張るわみたいな感じに、お互いになってくるとそれぞれの地区のがこうして出てくるでしょう。それが、そうすると、ここは健康づくりで頑張るとるさかい受診率が少ないとか成人病が少ないとか、そういうデータにもなるわけなんですよ。ある人は言っていました。そういうアプリがあるからアプリでいいんじゃないかと。アプリは無料だけれども、アプリで儲かるのは企業が儲かるんであって、自治体が持つとるデータというのはいないものですから、せめてそういうオンラインシステムがせっかくあるんでしたら、それをお金がかかるとかもしれませんけれども、少しやったらどうかなということはこの間から言っとったわけでありましてけれども。これは独り言でございまして、どうかまた頭の隅に置いていただければと思います。以上です。

【村山金沢市長】

旧新竪町小学校の件につきましては、以前から要望いただいている内容ということで、確かに耐震できてないところについてはその後の利用が難しいというのは、これは山野前市長だからということでもなく、そういったことになっていきます。それは、この後の活用の仕方を考えなければいけないことに加え、避難所については、水害だけの対策ではなく、どういった災害であったとしても、そこには避難用具が整っているわけですから、そこにしかできないということになりますので、これは今課題として考えているというところでございます。

オンラインマラソンのシステムを使ってそのままずっと歩くことも実はできるんですけれども、それは詭弁でしかないので別の意味で話をさせていただきますが、確かにアプリがあって、それも使うことはできる。そして、アプリで歩いている距離を競争しているような県内の首長さん達もいらっしゃいます。

ただ、おっしゃってる本質的な話として、健康増進にどうつなげるかということだと思っております。私も公約の中で未病対策という病気にならないための対策というのを一つ打ち出しております。予算化できていないところではあるんですけれども、これをどうつなげていくか。一つは、フレイル予防という形で、これは前市長のときからやっているところですが、これを継続していくこともあるんですが、やはりウォーキングの効果であるとか、これをやっていくことによって病気になる人を防ぐ、あるいは高齢になっても元気でい続けていただけるということが市にとってもメリットは非常に大きい。医療費のこと

もそうですし、介護費についても関係してきます。ですので、未病対策をやっていききたいという中で、その施策の一環として検討することになるかというふうに思いますので、またご意見、お力をいただければというふうに思います。

【十一屋校下町会連合会】

ここに「10年後の金沢」ということを書いてあるんですけども、十一屋校下に内科が1個しかないんですよ。市立病院はありますけど。うちの近くの人に聞いていると、皆さん、田上地区とか他の地区へ結構行っておられるんですよ。私も今68歳なんですけれども、10年後ですから78歳、当然年取りますね。そしたら、運転免許証の返納という話もいろいろ出てますよね。田上地区は車だったら近いんですけども、バスで行く場合は金沢駅か武蔵かどこかに1回必ず乗換え、みんなそういう形になるんですよ。そういう形で考えると、やっぱり10年後は交通網をもう少ししっかりしていただけないと高齢者にとっては生活しにくいんじゃないかなということと。

市立病院の移転という話も出てますよね。十一屋校下で病院って、内科ってどこにあるのという話で、皆さん、今でさえ不便をかけて、バスで例えば宗広病院へ行く方もおいでる。金大病院も行っておられる。バス網がなくて本当に困っているんですよ、正直言って。そこをやっぱり考えてもらわないと、これ10年後、10年後と言うんですけども、来年、もう来月でも考えてもらわなくちゃいけない問題でなかろうかと思っておりますけれども、ちょっと考えていただければうれしいんですけども。

【新保都市政策局長】

ご意見ありがとうございます。交通の関係は都市政策局が所管でございますのでお答えいたします。皆様からよくいただくご意見としては、バスの交通網がなかなか行きにくいところがあるとか、金沢駅に行くのはいいんですけども、それ以外はなかなか難しいとか、そういったことをよくお聞きします。

今、第3次の交通戦略というのをつくっておきまして、その中で、今コロナの関係で皆さんやっぱりバスに乗らなくなったんですね。それで、北陸鉄道をはじめバス事業者さんが大変厳しい状況にあると。まずは、バスに乗っていただくための環境整備ということで、若い方がバスに乗りやすくなるように、スマートフォンを使ってバスに乗れるような環境を整備したりしていこうということがあります。その交通戦略の中でも、高齢者の方の免

許返納とバスに乗っていただくというものをうまく組み合わせをしていかなくちやいけないとか、そういう観点でも考えていきますので、ぜひ皆さんにはまずはバスに乗っていただいて使っていただくことがそれにつながっていくということも含めて考えていただきたいのと。まずは我々も、乗りやすいバスを目指すということで交通事業者を今後も支援していくということですので、10年後に向けてどんなことができるかということを中心に議論していきたいと思っております。

【村山金沢市長】

私は、市立病院のあり方検討会というのを副市長時代にやっておりましたので、その検討の内容を伝えさせていただくと、市立病院は移転ありきという形で話が進んだわけではありません。もともと老朽化した市立病院をどうするかということが対応の焦点でした。また、それとあわせて、今後担うべき市立病院の機能というのを周辺の病院との機能の在り方を見直した上でどうするかということを再定義いたしました。その中では、市立病院は南部地域の拠点的な病院であるということを定めております。そして、その中で近くにある北陸病院であるとか、日赤も含めて、その関係を考えていきたいと思いますというところで終わっております。

現地からの移転という言い方になるとあれなんですけれども、その現地でそのまま建て替えをしようとするのと診療機能を一時止めなければいけないということがあって、そのままの現地での建て替えという形では難しいかもしれないということがその中では入っておって、そのために移転ということになっております。ただ、遠いところに移転するということを決めたわけでもありませんし、その辺りは市内の土地の状況なども見ながら、これから検討していくことになるというように思います。

【泉野校下町会連合会】

犀川左岸の桜橋、清川町から寺町3丁目に上がる旧の桜坂について、ちょっとお話ししたいと思うんですが、恐らく明治維新前後にできた坂なんだと思いますが、昭和40年代に桜橋を渡って右手に崖を切り開いて泉が丘のほうに行く新桜坂ができました。その後もその旧の桜坂は、下のほうから一方通行で車が上がる道になっております。道幅としては4メートル弱の狭い道で、結構歩行者と車が混在してる状態です。

昨年放映された「いのちの停車場」という映画を市長もご覧になられたかもしれません

が、金沢市が舞台になった映画で、あそこの旧桜坂を主演の吉永小百合と広瀬すずが自転車で上がるシーンもありました。上から歩いていくと、犀川を挟んで旧市内が一望にできる非常に景観のいい場所でありまして、車の一方通行で下から上がるだけの道では非常にもったいないと私は思います。

以前、金沢大学の医学部と金沢美大の間に小立野トンネルがあるあの坂ができたときに、古い小立野から旭町に抜ける鶴間坂が車を通行止めにして、車は小立野トンネルのほうに行く。古い鶴間坂は歩行者専用になったと、という例もありますので。それから、寺町1丁目でも長良坂という下菊橋から寺町1丁目に上がる坂は歩行者専用になっています。ですから、そういう新しい坂が車のためにできたんですから、古い坂はやっぱり金沢市にも歩ける環境推進課、そういった課もありますから、ぜひそういった景観のいい、そしてゆっくり歩けるようなそういう坂を歩行者専用にしていただければいいかなと。ぜひご検討いただきたいと思います。泉野校下と菊川校下のボーダーなもので、ちょっと微妙なところなんですけど、よろしくお願いします。清川町のところは新堅校下ですか。

ついでに言えば、昭和39年から40年の町名変更で、実はあそこは下と上は石切町という同じ町会だったんです。町名変更で寺町3丁目と寺町5丁目と清川町と3つに分かれたために町会が分かれたという経緯もあります。それはちょっと関係ない話ですけども。

【村山金沢市長】

歴史的にはどうしてそうなったか知りたいところはあるんですが、この場で何とも言いづらいところではあります。また、様々な方々のご意見が多分あるというように思いますし、自動車で通行されている方も恐らく日常的にという形なんだろうなと思いますと、そういう使いたい人のみが使っているのかなと。たまたま通る人が使うところではないようにも思うので、そういうユーザーの方々のご意見もあると思いますが。

【菊川地区町会連合会】

ちょっとお聞きしたいとかお願いしたいんですけども。結ネット、先日の災害のときにも結ネットで情報がどんどん入ってきておったんですけども、まず町会連合会の事務局から入ってくる、それから市民協働推進課から入ってくる、そしてシーピーユーから入ってくるということで、何か携帯がぼんぼん鳴ってるんですね。それを何とかまとめるっておかしい話なんだけれども、その調整方を少しお願いしたいなという思いがあ

ります。

【松田市民局長】

私のほうから、結ネットの関係の話をさせていただきます。

結ネット自身は皆様方にもう1万何千人と使っていていただいて、大変有効だということで評価も高く、最近毎日のように県外からの視察が来ています。

今回の大雨のときには、多分、避難所の開設や、第13報、第14報という形でたくさん出てきている。危機管理的にはそれは仕方ないかなと。その時点での最新の情報を皆さんにお渡しする必要があるのです。

一方で、会長が言われたとおり、次から次と結ネットでも来るし、私、公用の携帯電話を持っていますけど、それも鳴る、自分のスマホも鳴ると、もう何だかよく分からんという、そんな状況だったんじゃないかなとということですが、実は、結ネットについては、人間が更新してるんです。警報が出たりすれば、防災のネットワークのメールは機械的に出てるんですけど、結ネットはそこまで想定しておりませんので、人が入力して、最後に確認して、という感じでやっていることが課題の一つでもある。

できるだけユーザーの方にその発信する内容を選択できるようにできないかという話は市民局の中でも検討させていただいていまして、これはもうシステムとして株式会社シーピーユーへの要望事項として考えていかなきゃいけないんで、そちらとも交渉しながらやっていこうかなと思っていますが、機能を追加するという形になりまして、何らかの費用は発生するのではないかなと、それも含めて。そういったご意見はいろんなところで言われまして、大切なんだけどどれを選択すればいいのかということは、これから危機管理部門とも相談させていただいて、よくなればいいのかというふうに思っています。

【菊川地区町会連合会】

先般の災害のときに避難所を開設ということで私もお手伝いに行ったんですけども、現地にいたときに情報源が一つもないんですね。NHKなり何かテレビを見ようかなと思ってもテレビがないし、たまたまそこにあったテレビにはチューナーがなくて使えないというような状況がありましたので、Wi-Fiなりが誰でも使うことができればよいなという思いでいました。GIGAスクールのWi-Fi設備もあるんでしょうけど、それは学校の設備なんで使うということが難しいかも分からないですけど、災害拠点として避難所でそ

ういった設備が使えるような状態になればいいかなということを思いました。

【松田市民局長】

ちょっとテレビのことは分からないんですが、Wi-Fiについては、学校の体育館とかを使っている避難所においては、やっぱり今のお話のように提供できるような形が必要じゃないかという課題があり、危機管理部門でも検討した経緯がありますので、どんな状況であり、どんなインフラの整備状況であるかということについて、最新の情報を確認させていただいて、またお答えしたいなというふうに思います。

4 市長まとめ

【村山金沢市長】

今日は長時間にわたりましてご意見をいただきましてありがとうございました。

いただいたご意見、都市像の中に反映できるものについては反映させていただきたいと
思いますし、またそれ以外でも地域の課題についてご質問、ご意見いただいた点について、
この場で十分に対応できない部分もございましたので、後ほどそちらについては追って回
答させていただきたいというように思っております。

本日は本当に長時間にわたりましてありがとうございました。